

中山 11 発走 15:35

第56回京成杯(GIII) 3歳、オープン(調教別定)

Table with columns for race number (11), horse name, jockey, trainer, and various performance statistics.

1 前走... 朝日杯F5からは2頭... アドマイヤモラルでも3着... トロイメゼンツは2着... 千の未勝利を勝ち、母はオー...

クズ3着馬。中距離向きとすれば千六六一で健闘は評価... 好メンバーの東スポ杯から... 強豪馬に切れ負けの形だが、レースセンスの高さは中山二...

千でさらに生きてきそう。3頭出走のホープフルシャルマ... 先着6着でプランシヤルマン... Sペを好位で運んだ... わりに少々物足りないが、残るが... ②④⑤着馬はすでにOP・重...

賞勝ちのあった馬。前走より... は層は薄いが、⑦着ブレイド... マッシュの前は上がり3位でも... グローレの勢いひと息。まだ... 二千OKとはいえない。

メイトルダールが勝った葉牡丹賞は緩い流れからラストのゴ... F連続11秒6。大外一風のゴ... フウ抜きは着差以上の中身... ウムブルフの未勝利勝ちはい... ンバクト大。同じ日の葉牡丹...

Table with columns for horse name, jockey, and various statistics for the 2000 series.

Table with columns for horse name, jockey, and various statistics for the 2000 series.

Table with columns for horse name, jockey, and various statistics for the 2000 series.

Table with columns for horse name, jockey, and various statistics for the 2000 series.

相木の単連... 連続騎乗したムーア騎手が... 瞬発力勝負型ではなく一気に... スパートした方が能力全開に... つながることを示したウムブ... ルフ(ル系はドイツ血統。こ... の時期のタフな芝が合う。

本紙の見解... 中山歓迎のラフレシア... マイネルラフレシアは新馬→特別を連勝し、東京スポ... ツ杯が3着。①②着馬の決め手に届いたが、これは東京コ... ースだからこそ。平均ラップでいい脚を長く使えるタイプ... で、コーナー4回の小回り中山二千なら先行力・器用さを... フルに生かせる。こは、思い通りの競馬が可能な組み合... わせ。前走庄勝ウムブルフが相手筆頭。 [上位拮抗]



大川浩史

これを決まり

前走距離が重要なムーンクレスト(中山9R)の距離別成績は

千四(1020)
千六(1103)
千八(1112)
二千(0003)

単純に「二千は長い」としてもいいが、千八の「前走の距離別成績」をみると

前走が千四：⑤着

11R3連複
上位1⁴~25⁴

1218	10.5
1212	23.9
2812	24.0
1812	26.5
1214	29.9
1215	30.3
1217	33.3
1213	33.8
2418	37.2
1718	38.9
2815	41.7
2718	41.9
1815	47.4
1418	48.2
1214	54.1
4812	54.5
1318	56.2
2318	60.2
7812	64.6
1814	65.0
2814	67.9
81215	78.2
1216	83.2
2412	85.1
1412	86.1

前走が千八：③④着
前走が二千：②①着

距離を短縮しての千八ならいいが、そうでなければ千八でも危なっかしい。千四↓千六というステップの時も③④着と着順を下げた。単に距離が長いから短いかは長い、前走との比較で距離が長い短いかが問題。

アドマイヤムーン産駒の牡馬はこのタイプが多く、アットウイル(中京11R)も2000M以上の距離短縮時は(1120)。

今出、二千からの距離短縮で千八に出走するムーンクレストは好走パターンに入っている。

編長の馬

京成杯出走組は2000mになった99年以降、京：卓

99オースミブライト ①：②
05アドマイヤジャパン ①：③
07サンツェベリン ①：②
08マイネルチャールズ ①：③
10エイシンフラッシュ ①：③

という卓月賞との関連があるものの、17年間で5頭の勝ち馬が卓月賞で善戦しているだけ。路線の主流ではない。

だが、2歳重賞が改革されている(朝日杯、ホープフルSなど)。近年は多頭数になり、今年ホープフルS(GII)組が3頭もいる。本番卓月賞の好走馬が増えるかもしれない。

勢いに乗るモリスなどの堀厩舎が、例によって短期免許のF・ベリー騎手を配し、ウムブルフを出走させる。

前回の中山2000mをムーンクレストが4馬身差圧勝。2分02秒9は平凡だが、ムーンクレストすれば早めスタートの力まかせの競馬。タメて切れを生かすタイプではないことを連続騎乗で分かってしまったから：と映った。



小木曾大祐

発見馬

一気に寒くなり、怖い怖い雪マークが天気予報につき始めました。体が冷えないように、懐から暖めていきたいものです。

新馬戦から2頭。まずは④Rのサニーデビヒーロー。半マイルから一気に飛ばした先週の追い切りが、スピード感満点の動き。直前も追って反応良く、一頓挫あった影響は全くありません。スピード能力は一枚上、逃げ切りを狙います。

⑥Rはカタルーニヤ。道中、押さえるのに苦勞するほどの手ごたえから、力強い動きを見せた直前の稽古が好内容。素質の差で圧倒します。

⑦Rはプリンセスロック。勝った気性をうまく押さえられた前走ですが、直線は内へ内へと狭い進路。外出できれば…の内容で、改めて注目。

11R3連単
上位1⁴~25⁴

2118	43.3
1218	48.2
2811	51.8
1214	59.7
8211	61.0
8112	63.3
2112	67.8
1812	72.1
2115	76.5
2113	77.2
1212	79.1
2812	94.0
1215	97.2
1213	97.5
2114	101.2
8212	112.4
2151	113.2
1217	116.1
1217	121.6
2128	132.5
2158	134.0
8122	134.4
2121	135.9
8112	140.1
1812	143.8

◆デイリーインパクト産駒の成績

23年スーパーバード ⑩着④
スマートロビン ⑫着①
24年ベストデビル ①着②
アーデント ④着②
25年マイネルストラノ ⑧着⑥
26年アインザライフ ⑧着④
クラングレイ ⑩着④
27年ソールインパクト ④着③

*①内は人気



藤本貴久

中山8R アンヴァリッド

車両で前に座った女性。頭を後ろの窓につけての爆睡。すると徐々に顔が斜め上に傾き口も半開きに：まさにジュリー状態！これ分かるかな？

「戦ってきた相手関係からも現級では力が違う。叩き一変」

競馬人情 吉川良

私は北海道の牧場ではたらいの4人と、2カ月に一通ぐらいの、手紙のやりとりをしている。4人とも、それはもう10年以上も続いている文通だ。

別々の牧場ではたらいにいる4人で、4人のあいだにつながることはないが、共通しているのは繁殖牝馬が10頭ぐらいの小さな牧場だ。

取材先の静内や浦河で知りあったり、私の文章について手紙をくれたりしたのは4人との出会いのきっかけである。

みんながスマホをいじり、ラインとかメールがあたりまえの時代に、「文通って何？」

と云われてしまいそうだが、仕事から解放されてひとりになり、そのときどきの思いを綴り、切手を貼ってポストに落とすのは、なかなかのオシャレだと私は思っているのだ。

最近の手紙で心に強くひびいたものがある。

「京成杯が近いけど、もしうちの牧場から京成杯に出る馬がいたら、すごい感激だろうな」と雪の中で馬と歩きながら思いました。いつか、京成杯を走るような馬と出会えるだろうか」

読んで私は、じいっと、宙を見つめてしまった。

京成杯は前走で器の深さを強く感じたウムブルフが本命。馬単②①①、②①①、②①①。

日経新春杯は秋から絶好調を保持しているシュヴァルグランが本命。馬単⑦①①、⑦①①。